

# H30年度 災害ボランティアセンター現地本部 設置・運営訓練概要

## ～ 鶴岡市総合防災訓練 ～

◇ 日 時 平成30年9月23日（日）

◇ 場 所 羽黒コミュニティセンター

◇ 協 力 公益財団法人鶴岡青年会議所

特定非営利活動法人鶴岡災害ボランティアネットワーク

### ❖ 今回の訓練テーマ

- ① 戸沢村災害ボラセンスタッフとして実際に活動した職員が、その経験を活かした助言や提案等を行いながら、いざという時の鶴岡市災害ボラセン運営に繋げる。
- ② 県内外から駆けつけてくれる、大勢の個人ボランティアで混雑する受付～活動に繋ぐまでの一連の対応を、臨機応変にスムーズに行うことをめざす。
- ③ ボランティア希望と依頼ニーズがピークに達している時期を想定し、翌日のボランティア予測人数と依頼されているニーズの的確なマッチングを行い、翌日のスタッフにスムーズに引き継ぐ準備を行う。

### ❖ 日 程

時 間	内 容	備 考
8:00	職員出発 《NTT駐車場》 ※資材運搬：ハイエース 職員輸送：ノア、赤い羽根号、ボラセン車	
8:25	職員集合 《羽黒コミセン》 ～会場準備	
8:50	スタッフ協力者（青年会議所、災害ボラネットワーク他）集合 《羽黒コミセン》 職員、協力者 オリエンテーション	
9:00	泉地区住民協力者集合 《羽黒コミセン》 泉地区住民協力者へ訓練内容説明	
9:10	災害VC設置・運営訓練①（窓口対応訓練） ※統監視察（9：23～9：28） 1～2分 説明 1～2分 見学	
9:50	災害VC設置・運営訓練① 終了（泉地区住民協力者解散）	
9:55	災害VC設置・運営訓練②（スタッフによるニーズ・マッチング調整訓練）	
10:15	災害VC設置・運営訓練② 終了	
	あとかたづけ、スタッフ解散 ～他の訓練見学・参加	
11:00	防災意見発表・防災訓練全体閉会式（羽黒体育館アリーナ）	
11:30	閉会式終了、現地出発	
12:00	NTT駐車場到着 ⇒ 職員解散	

## ❖訓練内容

### 災害想定

停滞する線上降水帯の影響により羽黒山麓で集中豪雨が発生、8時30分に今野川及び藤島川の水位が上昇し、「避難判断水位」に到達したため、市は「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、避難所を開設する。その後も非常に激しい雨により河川の水位が急激に上昇し、「氾濫危険水位」に到達したことから、市は、河川流域の住民に対し9時00分「避難勧告」を発令。各集落の住民は、市の避難情報発令に基づき、非常持出品を携行し、指定された避難場所に避難を開始する。

### 災害VC設置・運営のための想定

断続的に激しい雨が降り続き、今野川及び藤島川が氾濫し羽黒地域の特に泉地区で浸水被害が多く発生した。市災害対策本部からの要請を受け、現地（羽黒コミュニティセンター内）に災害ボランティアセンターを設置することになった。

**前段の訓練では**、県内の社協職員からの応援を要請・調整中の立上げ直後の時期の設定で、県社協職員・鶴岡市社協職員・地元の支援団体（青年会議所、NPO）による限られた人数での災害ボラセン運営を想定した訓練とする。鶴岡市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを基に、住民からのニーズ受付（訓練では訪問によるニーズ調査は行わず）と、ボランティアの受入れ、マッチング、必要資材の貸し出し、活動への送り出し、活動を終えたボランティアからの報告書提出までの一連の対応を地域住民に協力をいただき実施する。

**後段の訓練では**、その日のボランティア活動が終了し、スタッフの全体会議の中で、翌日の活動に備えた調整の訓練を行う。具体的には、「その時点での申込みボランティア数と翌日に予測されるボランティア申込人数」と、「その時点で依頼されているニーズと当日依頼されると予測されるニーズ」のマッチングについてスタッフ全体で話し合って調整し、翌日のスタッフがスムーズに業務に取り組めるための準備を行う（ボランティア、ニーズともにその場で選択する方法をとり、基本的に台本なしでの訓練とする）。

## ❖訓練参加者予定

◇ 市社協	17名
◇ 災害VC連絡会構成員	1名
◇ NPO災害ボランティアネットワーク	4名
◇ 鶴岡青年会議所	5名
◇ 大学生(消防機能別団員1、社会福祉士実習生2)	3名
◇ 泉地区住民協力者	31名

---

合 計

61名

## ❖役割分担

### ○災害ボラセンスタッフ役（市社協職員、災害VC連絡会、青年会議所、NPO、大学生） 30名

総務班、ボランティア受付班、ニーズ班、マッチング班、資材・車輛班に分かれる。

### ○ボランティア役（羽黒地域泉地区各集落より） 26名

県内外から駆けつけたボランティアに扮して、窓口での申し込みから活動から帰ってくるまでの動きをお願いします。今回は、団体での参加はなく全員個人ボランティアという設定とする。

### ○ボランティアをお願いしたい役（羽黒地域泉地区 各集落より） 5名

被災した住民に扮し、自宅が被害を受け家屋の片付けや泥出しなどに困っており、直接災害ボランティアセンターを訪れた住民役。5名中、3名が聴覚障がい者という想定で、筆談による会話の訓練もおこなう。

- 以上の3役に分かれ、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行う。
- 例年以上に参加協力者数が多く、また今回は限られた部屋での訓練になるので、駆けつけた大勢のボランティアでごったがえし混乱する場面をつくりだすことができると思われる。その中で、実際の場面を意識していかにスムーズに対応できるか、各班ごと、また各班どおしが連携して対応するための訓練とする。

## ❖その他

### ○戸沢村災害支援の写真掲示

参加者に災害ボランティアセンター活動のイメージをもってもらうために、8月に大雨水害が発生し鶴岡市からも連日支援に駆けつけた「戸沢村災害ボランティアセンター」での、スタッフ活動とボランティア活動の写真掲示を行う（災害ボラセン内にパネル2枚）。